

河北リハビリテーション病院 セラピー部

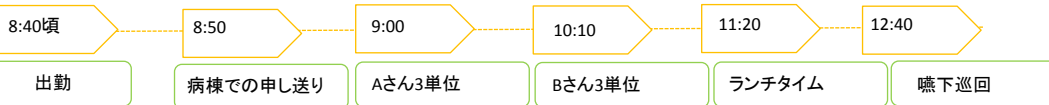
一日の流れ

ST 酒井さんの1日



回復期で機能改善を目指していく中で、言語療法室の数と検査や訓練教材の多さに圧倒され、充実した訓練プログラムが立案できる点に興味を抱きました。

ST内でも互いに相談し話し合いをしているので非常に勉強できる環境です。

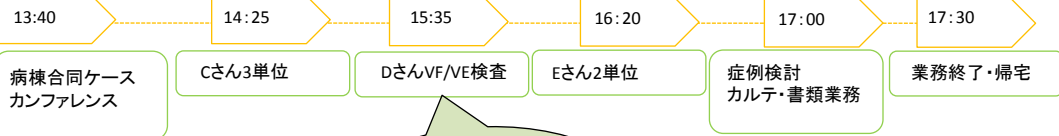


前日・夜間の患者さんの体調を看護師さんと一緒に確認をします。



医師と栄養士、看護師、STが各階の嚥下障害患者へ対してのアプローチ方法、栄養摂取方法を検討しています。

実際に患者さんが食事をしている時間帯に評価・訓練できるよう、昼食時間をずらすこともあります。



病棟スタッフとセラピストで患者さんの情報共有をしています。

摂食嚥下障害を評価する為に、嚥下内視鏡(VE)検査/嚥下造影検査(VF)を行っています。また、医師を交えた勉強会も行っています。



職種間で集まり、先輩たちからアドバイスをもらいながら、患者さんの適切な予後予測の検討しています。